



日本プライマリ・ケア連合学会
近畿ブロック支部 活動報告

発行人：外山 学
事務局 〒550-0001 大阪府大阪市西区
土佐堀1-4-8 日栄ビル703A
あゆみコーポレーション内
Tel. 06-6441-4918 Fax. 06-6441-2055
E-mail jpca@a-youme.jp
HP square.umin.ac.jp/pc-kinki/

ニュースレター No. 6 (2014. 3)

[勉強会報告] 第28回プライマリ・ケアを語ろう・おおさか勉強会 (2月2日)

仁科 昌久 (仁科医院/大阪府豊中市)

プライマリ・ケア連合学会大阪地区勉強会である本勉強会が、大阪大学中之島センターで開催された。今回のテーマは「医療訴訟～知らなかったでは通用しない落とし穴～弁護士から見た、患者、家族との接し方、書面の書き方」で、医療訴訟を専門に担当されている北浜法律事務所パートナー(役員)の山本健司弁護士を講師に招き、講演とグループワークを行った。

厚労省指導で患者様と呼ぶようになってから、急に医療訴訟数が増加してしまったこと。産婦人科医の刑事訴訟事件があって医療訴訟の見方が変わり、刑事事件としての訴訟がほとんど無くなってしまったこと。

医療訴訟による最終的な裁判所の判断によるものは少なく示談が圧倒的に多いが、内容的には医療側の実質的敗訴で終わっていること。証拠となるものは、例え相手側に許可無く録音していても完全な証拠として裁判では通用すること。また、裁判所での判断の仕方は、我々医療従事者の常識とは違っており、細かな時間までカルテに記載されていなければ、重要記載無しと判断され、不利に働いてしまうこと。中途半端な時間記載をするならば、始めから時間明記の無い方が有利である事など。

討論を通じて患者さんやご家族の気持ちにストライクを投げる事が予防にとって大切とされたが、お気持ちに「共感」することが重要で、謝るべき時には早めに謝ることが重要、などたいへん貴重な内容であった。

恒例の健康ランチの勉強は、飽食の時代にありながら、その吸収率の低さもあって唯一不足していると言われるカルシウムを上手に摂る食事が提供された。食材の選択とともに炊き込みご飯にスキムミルクを混ぜ入れるなど、多くの美味しい工夫がされていた。



近畿ブロック支部 (KPCA :Kinki Primary Care Association) について

近畿ブロック (滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山の2府4県) に所属する学会会員で構成され、ブロック代議員会を最高議決機関としています。

ブロック支部会費は必要ありません。日常的な運営は幹事会が行っています。

- ・ 支部長 : 外山学 (学会理事)
- ・ 副支部長 : 雨森正記 (学会理事)、大島民旗 (学会理事)、戸田和夫
- ・ 幹事 : 朝倉健太郎、足立光平、梶山泰男、木戸友幸、小泉俊三、空地頭一、高木幸夫、武田以知郎、羽野卓三、福原俊一、松村理司、水野融、三ツ浪健一
- ・ 監事 : 大島久明、澤木政光



〔勉強会報告〕 ERチェックリスト大会 (2月22日)

座古 竜世 (市立福知山市民病院)

～地域の基幹病院での研修医主体の救急勉強会『ERチェックリスト大会』～

当院は京都北部の地域の急性期病院であり、1～3次救急まで区別なく受け入れている。この環境で各研修医は様々な症例を経験できるが、症例を研修医の間で共有すること、また知識の定着やフィードバックのために勉強することが必要と考え、上記勉強会を年2回、近隣の病院の先生方も参加可能なオープンな会として開催している。

『研修医当直御法度 (寺沢秀一他著)』をベースにERでよく遭遇する疾患の対応方法、落とし穴などを、経験談を踏まえながら勉強した。年々項目も研ぎ澄まされERのエッセンスが詰まった内容になっている。スーパーバイザーとして、救命救急センター長や総合内科スタッフの他、院外講師に当院の元総合内科医で初代ERチェックリスト作成者の浅川麻里医師 (現 市立奈良病院) を招聘し、研修医2年目が1年目にレクチャーする形式で実施した。

例えば、若年女性の下腹部痛は〇〇から考える。〇〇は妊娠であり、この様なことはどの本にも記載されているが、実際に産婦人科を研修した2年目研修医が自験例を踏まえながらレクチャーすることで記憶に残りやすい。さらに、その後の入院後の管理まで見越して救急での初期対応でやるべきことを明示しているので説得力もあり、明日からの臨床に使える知識が得られる。また2年目も教えることによって自分自身の症例を振り返る機会となり、さらに上級医からはマネジメントのアドバイスを享受でき、研修医のみならず、参加者全員にとって有意義な会であった。

学会からの助成金は院外講師招聘の為の費用やポケットサイズにポイントを明記し参加者に配布したラミネート作成費に利用させていただいた。この場を借りて厚くお礼申し上げる。

〔活動報告〕 近畿ブロック所属理事活動報告 (1)

外山 学 (益田診療所/大阪府門真市)

「支部活性化・会員増強委員会」の委員長をさせていただいております。昨年6月発行のニュースレターNo. 3において、各ブロック支部のニュースレター (活動報告書) が、全会員に届けられるしくみを作ったことを報告させていただきましたが、この度、学会のウェブサイトにもPDFファイルでアップされることとなりました。こちらは、カラーで掲載され、バックナンバーも全て掲載されておりますので、是非ご覧下さい。

(HOME > 支部情報 > ニュースレター http://www.primary-care.or.jp/shibu/shibu_nl.html)

又、この5月の岡山での学術大会において、広報委員会と合同で特別企画「支部活動の活性化と地域・社会への貢献」を開催することになりました (5/11日 13:30～15:00)。

地域支部活動で課題となるいくつかのテーマについての実践発表後、8つのブロック支部単位でグループワークを行い、地域支部活性化のための、各地域の現状に根ざした具体的取り組みのアイデアを創出します。学会会期中に、ブロック単位で集まることのできる場ともなっています。当日参加可能ですので、皆様のご参加をお待ちしております。

その他、勉強会等の統一カレンダーサイトの立ち上げ、勉強会開催に関する各種申請の簡素化、支部にとってより利便性の高い名簿提供、ブロック支部への補助規定の見直し (増額) など学会に提案し、実現に向けて活動しております。全都府県での支部結成に向けて、委員会として、今後、さまざまな支援を具体化していく計画でありますので、よろしくお願いいたします。

〔活動報告〕近畿ブロック所属理事活動報告（2）

雨森 正記（医療法人社団弓削メディカルクリニック／滋賀県）

生涯教育委員長として活動しています。生涯教育委員会では会員の皆様の日々の診療に生かせるようなセミナーを提供するように日夜考えております。今年度は春と秋の生涯教育セミナーとある項目に絞ったHands-on セミナーを開催しております。

第7回秋季生涯教育セミナーが平成25年11月16、17日に大阪科学技術センターにおいて開催されました。今回は500名を超える方に参加をしていただきました。

初日は我が国の家庭医養成のリーダーとして活躍されている亀田ファミリークリニック館山の岡田唯男先生、岩手県藤沢町で先進的な地域包括医療を行っておられる佐藤元美先生、震災支援、地域連携でのナラティブで活躍されている古屋聡先生、今話題の看取りの写真集を撮影されている國森康弘氏と花戸貴司先生という他にはない講演が行われました。また同時に、今後の総合診療医の養成では欠かせない小児科、産婦人科と連携についてのシンポジウムが行われました。

2日目は17個のワークショップ、講演が行われ、参加者はそれぞれまえて選択していただいていた企画に参加していただきました。今回も明日からの診療に生かせる実践的な内容ばかりで満足していただけたかと思えます。

来年度の生涯教育セミナーは、

□平成26年6月29日（日）札幌市 北海道立道民活動センター

□平成26年11月8（土）、9日（日）大阪市 大阪科学技術センター

に行われる予定です。今から予定を空けておいていただけて多くの会員の皆様の御参加をお待ちしています

〔活動報告〕近畿ブロック所属理事活動報告（3）

大島 民旗（ファミリークリニックなごみ／大阪市淀川区）

現在私の関わっているプログラムFD (=Faculty Development)・運営委員会、後期研修関係では、2017年度から導入される「総合診療医」を意識した「家庭医後期研修プログラム Ver.2」の、他のプログラムから受け入れ可能な施設の登録事業を行っています。これは新しいプログラムでは総合診療研修に指導医の配置が必要であったり、救急、小児科、内科とも外形基準が存在したりするため、指導医資格を持っている医師がいないことや適当な研修場所が提供できないために研修プログラムが実施できないことのないようにすることが目的です。

また、この間指導医養成講習会のニーズが高くなり、私自身11月、1月、2月と指導医講習会のリーダー・講師を務めました。家庭医後期研修で何を教えるか？ポートフォリオとはなんぞや？などのテーマで、結構ベテランの先生も受講されていますが、皆さん積極的に参加されありがたく思っています。

後期研修プログラムの質を評価し相互に刺激しあうための「サイトビジット」を2月8日に大阪家庭医療センター・ファミリークリニックなごみで実施予定でしたが、御存知の通り大雪の警報がでたため延期となりました。日程調整の上再度実施したいと思っています。

予告!

第28回近畿地方会 「虹に向かって -明日への地域医療-」

<http://pckinki28.umin.jp>

- ・会期：2014年11月30日（日）
- ・会場：千里阪急ホテル（大阪府豊中市新千里東町 2-1）
- ・主催：豊中市医師会
- ・大会長：上辻 浩夫（豊中市医師会 会長）

[ご案内] 地域支部・グループ研究活動に対する補助の公募 (2013. 6. 30 一部改定部分を下線で表示)

近畿ブロック支部では、府県単位での地域支部活動や、さまざまなグループ活動を積極的に支援するために、補助を行っています。申請用紙(事務局にご請求下さい)は簡便に作っておりますので、お気軽にご応募下さい。今後も適宜改訂していきますので、より良いしくみにするためのご意見などもお願いいたします。

(1) 補助の要件

- 1) 主催者が日本プライマリ・ケア連合学会(以下、学会)の会員であること
- 2) 近畿ブロック支部の活動の趣旨に沿っていること。ただし、単なる懇親会は補助の対象外とする。

<参考> 日本プライマリ・ケア連合学会 近畿ブロック支部会則

第3条 本会は、近畿ブロックにおけるプライマリ・ケアに関する学術の進歩、知識の普及ならびに人材の育成を図り、プライマリ・ケアの充実および向上に寄与することを目的とする。また、人々が健康な生活を営むことができるように、地域住民とのつながりを大切にした、継続的で包括的な保健・医療・福祉の実践及び学術活動を行うことを目的とする。

- 3) 学会本部や製薬会社など、他の主体からの補助や協賛と重複していないこと。(大学や病院、医師会等の関係団体による支援は可)
- 4) 補助金の振り込みを受けるための銀行口座を有していること(個人名義で可)
- 5) 学会近畿ブロック支部から補助を受けていることについて、案内文書に記載するか当日アナウンスを行うこと。可能であれば、学会への入会勧奨をすることが望ましい。

(2) 申請の手順

- 1) 申請にあたっては、所定の書式に準じた申請書を提出すること。開催前の申請で、その時点で記載及び添付不可能な項目がある場合は、会合終了後に遅滞なく当該事項について提出すること。尚、補助金の用途を明記し、対応する領収書のコピーを添付すること。
- 2) 申請書2枚のうちの1枚は、学会本部へ「専門医・認定医研修講座」又は「認定薬剤師研修講座」の企画書を提出している場合(すなわち専門医・認定医、認定薬剤師の単位を申請している場合)、そのコピーをもって代えることができる。
- 3) 報告の形式は、近畿ブロック支部ニュースレターへの原稿提出とする。又、交流推進のため、地方会での一般演題発表も歓迎する。

(3) 補助額

- 1) 基本活動補助費(同一主催者には年1回のみ)として、学会会員10名未満の会の場合1万円、学会会員10名以上の場合3万円を補助する。
- 2) 会合1回ごとのオプションとして、都道府県など一定地域(あるいは職種等の一定範囲)の全会員に案内を送付する場合、ブロック支部事務局より名簿を提供し、当該府県(職種)分の案内人数分の郵送料(80円/人)を補助する。尚、名簿の提供は、郵送物発送のための必要最低限の形式とし、申請者は「当該勉強会の案内以外の目的で名簿情報を利用しない」旨の文言にサインするものとする。

支部からのご連絡

ブロック支部活動について皆様からのご意見やご提案をお待ちしております! また、会員の方の関係した講演会等の案内欄を設けております。掲載を希望される方は、1)日時、2)会場、3)講演会名、4)講演会の対象者、5)演題と演者、肩書き(主要なもの1つ)、6)主催者(及び共催者)、7)連絡・問い合わせ先、8)HP(あれば)、9)事前申込の要否、10)参加費用、11)取得可能単位を事務局までメール又はFAXでご連絡下さい。尚、原稿締切日とニュースレター発行日は、2月20日〆切→3月下旬発行、5月20日〆切→6月下旬発行、8月20日〆切→9月下旬発行、11月20日〆切→12月下旬発行となっております。学会及び支部の精神に則り、会員に役立つ情報提供をよろしくお願いいたします。